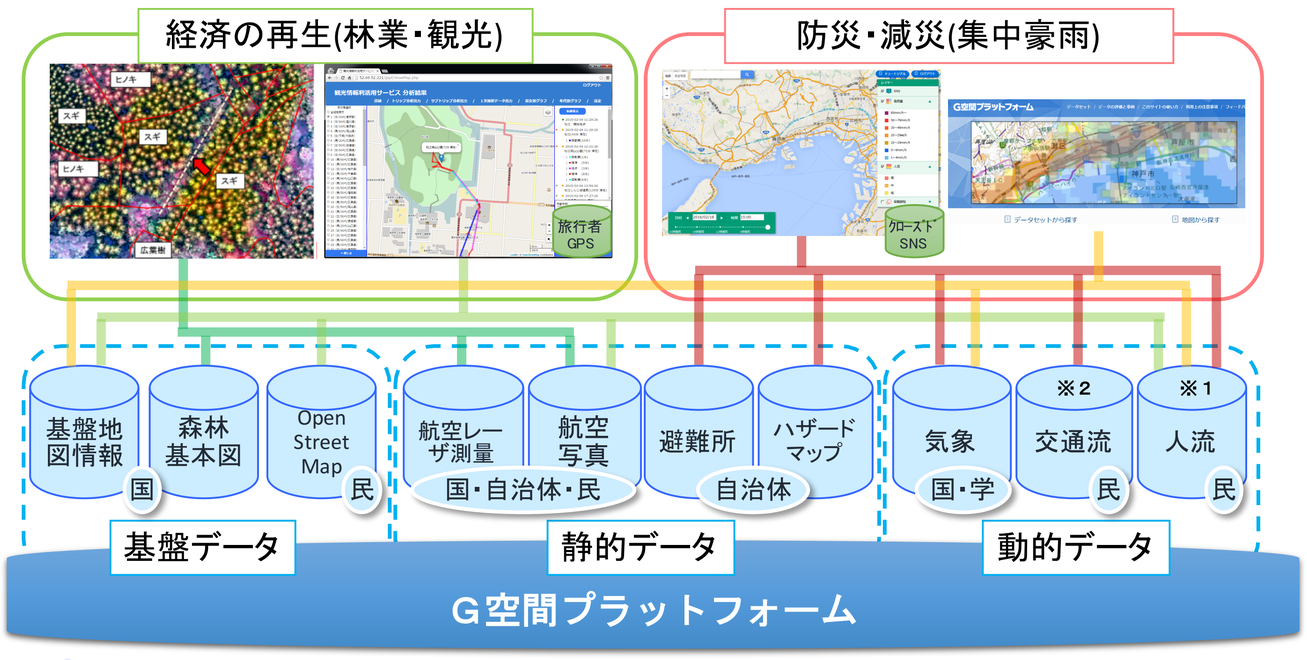
東京大学　柴崎・関本研究室 / Shibasaki - Sekimoto Lab. IIS, the University of Tokyo.

官民が保有する地理空間（G空間）情報の流通を促進するプラットフォームの開発

本研究開発は平成26-27年度総務省事業「G空間プラットフォームの開発・実証」において、国立大学法人 東京大学 国立研究開発法人 情報通信研究機構 および 株式会社 日立製作所の三者で行われました。

- ■ 官民が保有する様々なG空間情報をワンストップで入手可能なオープンプラットフォーム
- ■ G空間情報の円滑な流通を促進し、防災/減災や経済の再生に貢献するサービスを実現
- ■ 静的データ・動的データ、無償データ・有償（民間企業）データの入手支援機能
- ■ データを利用した動画や便利な機能を提供するアプリケーションのショーケース化



凡例：G空間プラットフォーム登録データ
サービス事業者保有データ

※1　データ提供元：KDDI株式会社　KDDIが同意を得たスマートフォンユーザーの位置情報を誰の情報であるかわからない形式に加工の上、総務省直轄事業である「G空間プラットフォーム開発・実証」の目的にのみ使用を許諾したデータです。
※2　データ提供元：パイオニア株式会社

ショーケース表示機能

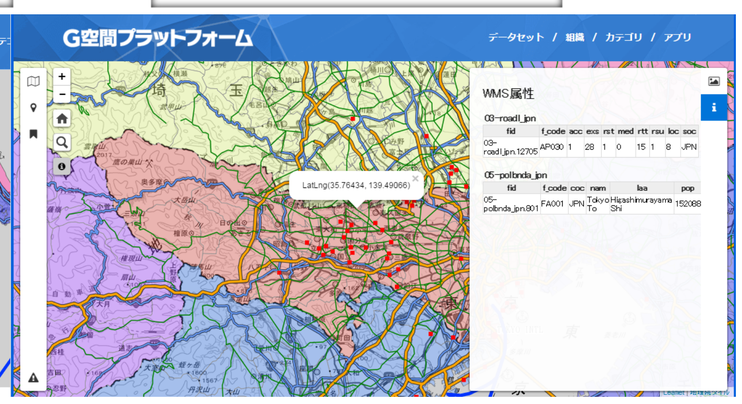
主なショーケース例

- ・日本を楽しむ外国人旅行客
- ・水戸市におけるスケールに応じた一日の人々の流動
- ・日々の木材流通経路
- ・全国のカープローブデータ
- ・はたらくくるま
- ・高知市における津波避難人流シミュレーション
- ・Yangonの人の流れ

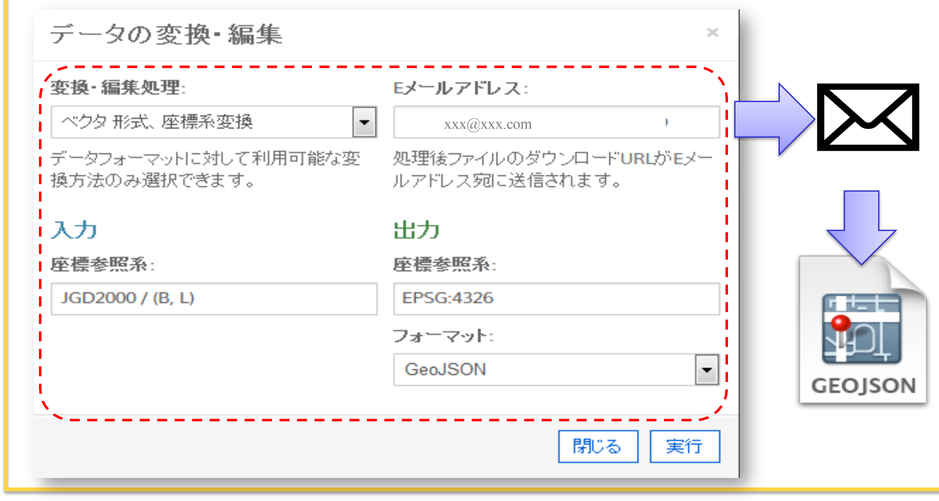
データマップ機能

表示状態の保存、読み込み

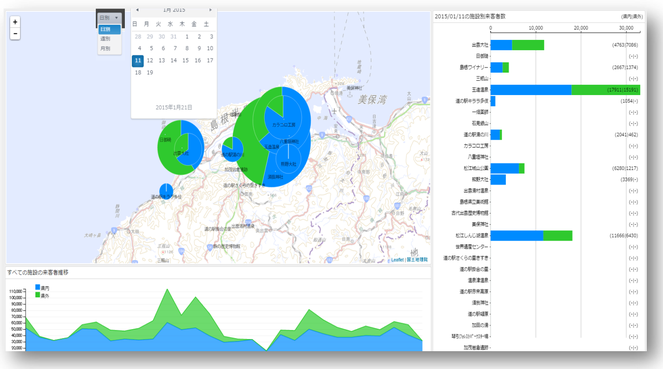
地物属性情報の参照

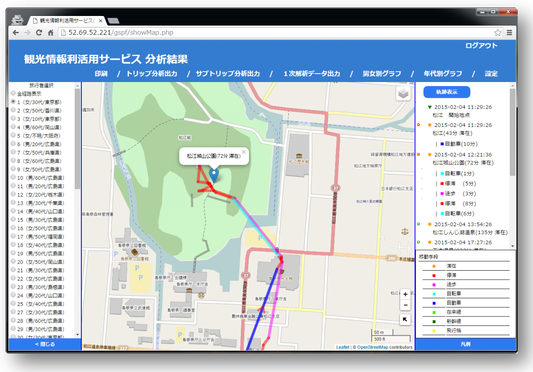


データ変換・編集機能

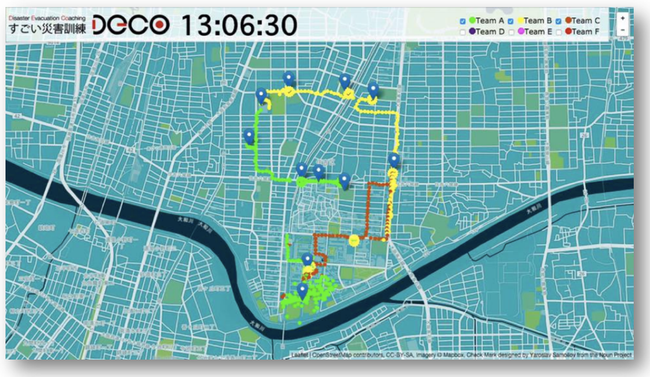


H26-27 デイリー観光客動向共有プロジェクト（島根県）



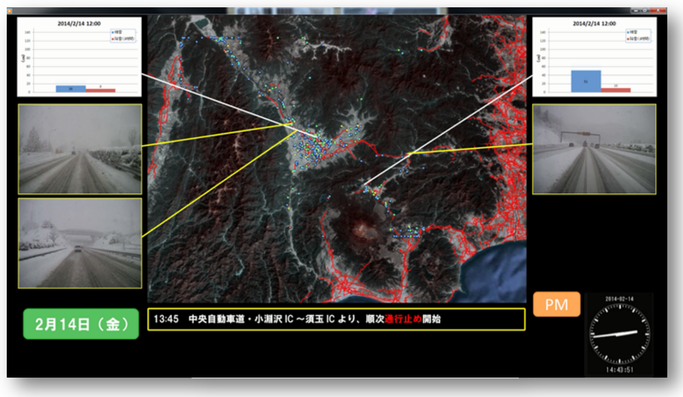


H27 防災・減災コミュニティとの連携



H26 地域活性化プロジェクト（森林）

H26 災害対応のためのケーススタディ整理



成果普及のためのシンポジウムの開催

CSIS次世代社会基盤情報寄付研究部門第13回公開シンポジウム
「G空間プラットフォームの民間開放に向けて～サイトの試験公開始めます」
http://i.csis.u-tokyo.ac.jp/event/20160126/